

令和 7 年度

龍谷大学付属

平安中学校入学試験問題

A1

社 会

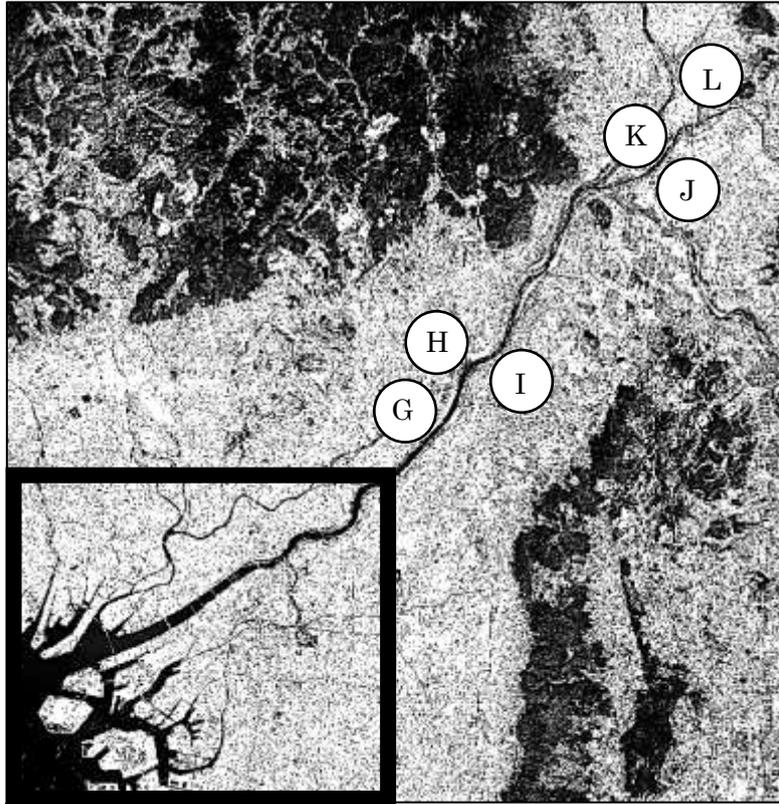
解答上の注意

1. この問題用紙は「はじめ」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 答えはすべて解答用紙の決められたところに書きなさい。
3. 解答用紙の決められたところに受験番号を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
4. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
5. 問題内容についての質問は受けません。
6. 印刷が読みにくいときは手をあげて監督者を呼びなさい。
7. 「やめ」の合図があったら、解答用紙をおもてに向け、問題用紙を解答用紙の上に置いて、回収が終わるまで席を離れてはいけません。(問題を持ち帰ることができません)

受験番号

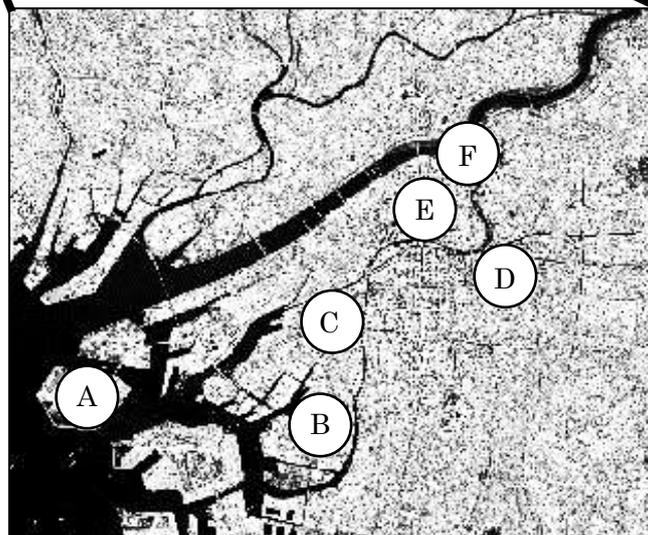
問 資料1は淀川流域周辺をあらわした地図、資料2は淀川の下流付近の拡大図です。
なお、A～Lの地点の記号は淀川の下流から上流に向けて付けられています。設問に
答えなさい。

資料 1



(参照 国土地理院より作成)

資料 2



(参照 国土地理院より作成)

問 1 淀川に関連する設問に答えなさい。

- (1) 平安時代に執筆された『源氏物語』には、光源氏が淀川を船で下る様子が描かれています。平安時代には『源氏物語』のように、日本風の文化が生まれました。平安時代の特徴を説明した文として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 男性だけでなく貴族の女性たちも和歌を詠んだ
- イ 貴族たちは畳とふすまのある部屋で、水墨画を描いた
- ウ 藤原道長のような有力な貴族が政治を動かした
- エ 宮中では端午の節句や七夕など、年中行事がおこなわれた

- (2) 淀川では古来、主要な交通手段として舟運が発達してきました。現在は船以外にも鉄道や飛行機などで物を運ぶことができますが、特に海外との貿易においては船での輸送手段がとられています。船による輸送は飛行機と比べてどのような利点がありますか。説明として正しいものを、次のア～オの中から二つ選び記号で答えなさい。

- ア 小型の荷物を短時間で運ぶことができる
- イ 一度に大量の荷物を安く運ぶことができる
- ウ 決められた時間通りに荷物を運ぶことができる
- エ 天候の影響を一切受けずに荷物を運ぶことができる
- オ 自動車などの重い製品を運ぶことができる

(3) 次の①～④のうち、淀川が流れている都道府県の組み合わせとして正しいものを、下のア～カの中から一つ選び記号で答えなさい。なお、縮尺しゆくしゃくは一定ではありません。



①



②



③



④

ア ①・②

イ ①・③

ウ ①・④

エ ②・③

オ ②・④

カ ③・④

問 2 A の地点は淀川の河口部、沖合にある夢洲^{ゆめしま}です。夢洲では今年に大阪・関西^{かんさい}万博^{ばんぱく}が開催^{かいさい}される予定です。関連する設問に答えなさい。

- (1) 大阪での万博は高度経済成長期^{こうどけいざい}の1970年にも開催されたことがあります。高度経済成長期の日本の様子をあらわした写真として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。



ア



イ



ウ



エ

(2) 夢洲はごみなどの廃棄物^{はいき}を埋め、つくられた人工島^{じんこう}です。ごみを多く出しすぎないために、私たちは 3R の取り組みを意識することが大切です。3R とは、リデュース、リユース、リサイクルのことです。このうち、リユースの取り組み例として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 紙パックを分別^{ぶんべつ}処理し、ティッシュとして再生産する
- イ エコバックを持ち歩き、買い物^かのときにレジ袋^{レジ袋}をもらわないようにする
- ウ 使用しなくなったカバンを、フリーマーケットに出品^{しゅつぴん}する
- エ 新商品の服^かが販売された際は、古い服^かを捨てて買い替^かえる

問 3 Bの地点は淀川の支流に面する大阪市大正区です。1880年代以降、現在の大阪市大正区にあたる地域には、沖縄から移住してきた人たちがいました。これらに関連する設問に答えなさい。

- (1) 大正区は近代紡績工業発祥の地です。沖縄出身の人たちの中にもこの産業に従事していた人がいました。資料3は1886年の淀川下流域をあらわした地図で、○の場所に大阪紡績工場がおかれていました。写真1はこの工場の近くの運河の様子をあらわしたものです。神戸港で輸入した原料をこの場所で陸揚げし、作った製品をこの場所から神戸港へ運んでいました。この場所に紡績工場が作られたのはなぜだと考えますか。資料や写真を参考にして説明しなさい。

資料 3



(出典 『近畿Ⅱ 地図で読む百年』より)

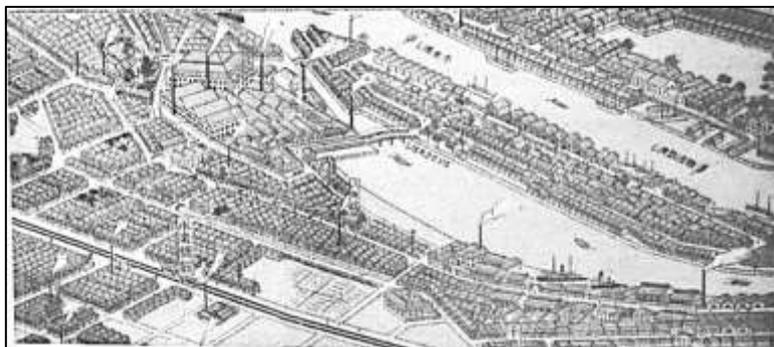


写真 1

(出典 大阪市近代紡績工業発祥の地 碑文より)

- (2) 写真 2 は沖縄の伝統的な住居、写真 3 は現在の沖縄の住居の様子です。これらの住居は沖縄の気候に適応することができるようにつくられています。また、災害に備えるための工夫もなされています。写真 2・3 の両方にあてはまる説明として正しいものを、下のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。



写真 2



写真 3

- ア 強い風から家を守るため、平屋の造りになっている
イ 暑さをしのぐため、風通しの良い高床式の造りになっている
ウ 水が不足して困らないよう、屋上に給水タンクを設けている
エ 強い雨にも備えられるように、壁がコンクリートでつくられている

- (3) 沖縄は 1972 年に本土復帰しました。しかし、現在も資料 4 の濃い部分にはある施設が残っています。濃い部分の施設とは何ですか。答えなさい。

資料 4



(参照 朝日新聞 DIGITAL より作成)

問題は次のページに続きます

問 4 C の地点は淀川の支流である安治川と木津川に面する大阪市西区川口です。
関連する設問に答えなさい。

(1) この付近には幕末から明治にかけて川口居留地があり、アメリカ人やイギリス人が住んでいたようです。アメリカ合衆国やイギリスに関連する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア アメリカ合衆国では宇宙開発が盛んにおこなわれている
- イ 現在日本は、石油の大半をアメリカ合衆国から輸入している
- ウ イギリスでは昨年、大統領選挙がおこなわれた
- エ イギリス人が最初に日本にキリスト教を伝えた

(2) 図1・2、資料5・6は、川口居留地に外国人が住み始めた時代に関連するものです。これらから読み取れることとして誤っているものを、次のページのア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

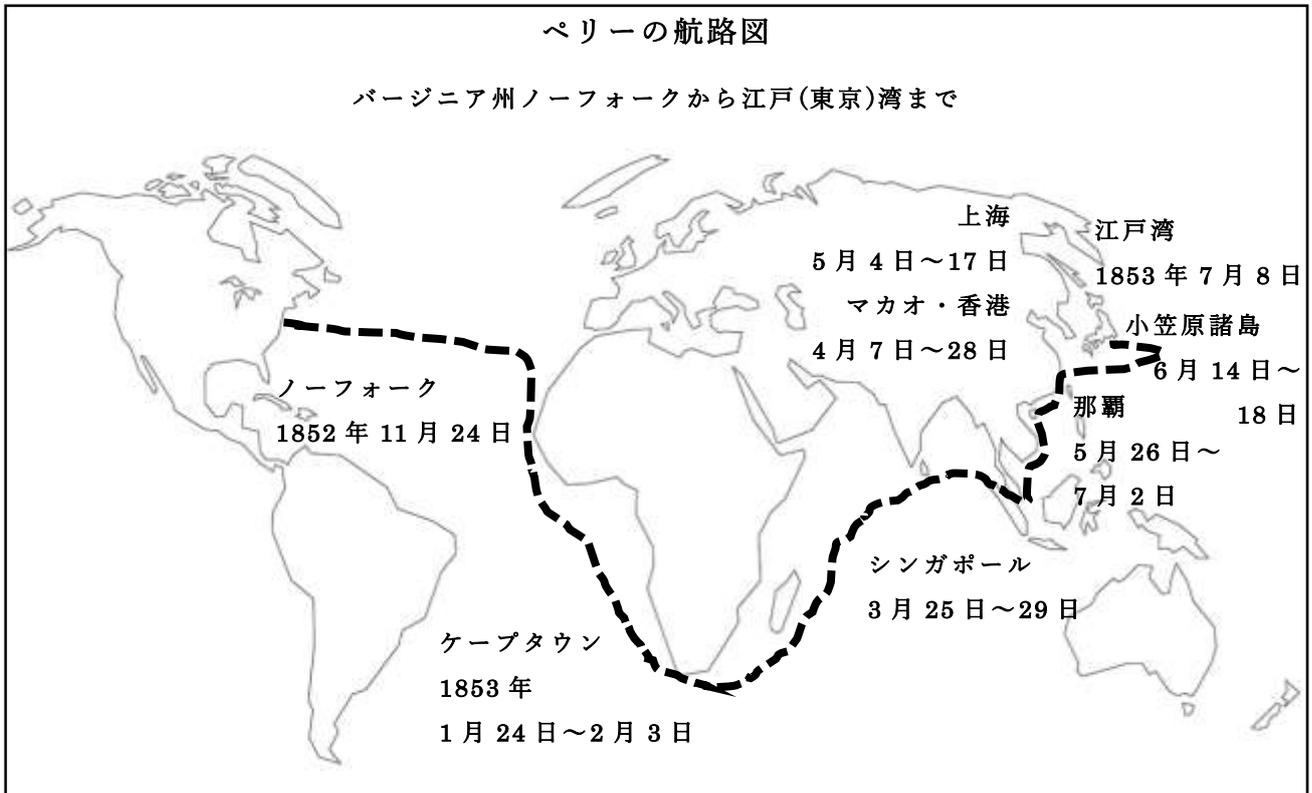


図1

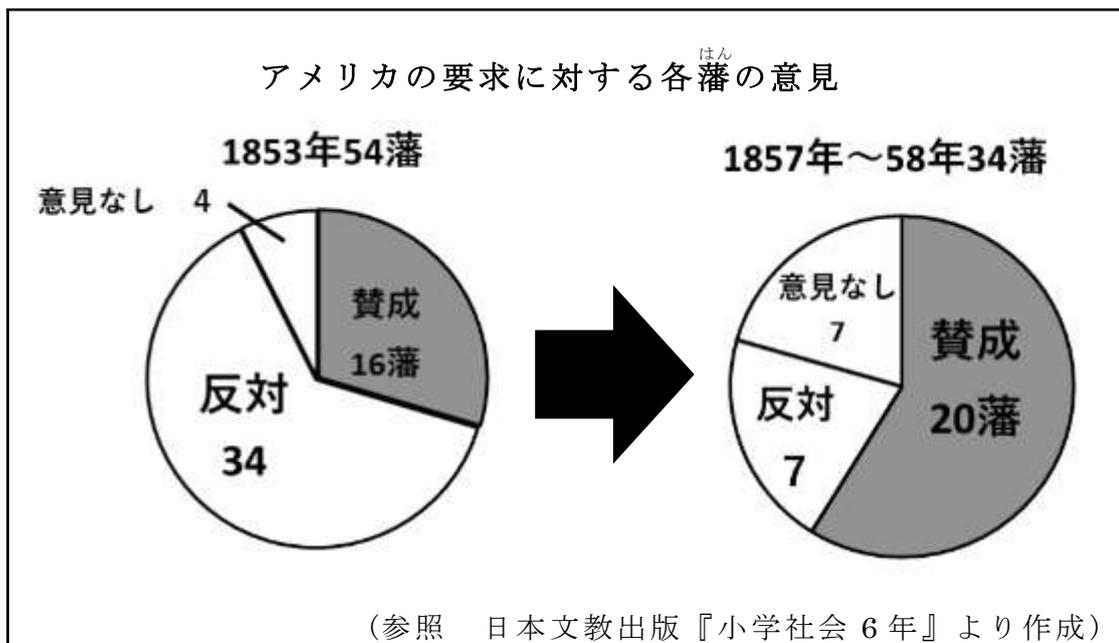


図2

資料 5

資料 6

日米和親条約(1854年)
 下田(静岡県)と函館(北海道)の二つの港を開くとともに、下田に領事をおくことや、物資の補給を認めた。

日米修好通商条約(1858年)
 函館・横浜・長崎・新潟・神戸の5港が貿易のために開かれた。
 日本は同じ内容の条約をアメリカ合衆国のほかに、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも結んだ。

- ア ペリーは太平洋からインド洋をまわり、日本を訪れた
- イ ペリーは江戸湾を訪れる前に、現在の沖縄にも来航している
- ウ アメリカの要求を受け入れることに賛成する藩の割合が増えている
- エ 日米和親条約では認めていなかった貿易を、日米修好通商条約では認めた

問 5 Dの地点には淀川の支流に面する大阪城があります。資料7は明治～大正時代の大阪城付近の地図です。この場所が太平洋戦争で空襲の標的となったのはなぜだと考えますか。資料8を参考にして説明しなさい。

資料 7



(参照 今昔マップより作成)

資料 8

戦況の悪化に伴って、熟練の技術者まで召集されて姿を消し、勤労働員の中学生や女学校生が増えていった。高度な技術が求められる旋盤などに初めて取り組む若者たち。不安を抱きながらの作業が続き、不良品も多かったという。しかし、徐々に鉄や銅などの原材料が不足していき、家庭から供出された鍋や釜まで持ち込まれるようになった。終戦の前日、昭和20年8月14日、砲兵工廠はB29の編隊による空襲を受ける。勤労働員の若者を中心に、働いていた300人以上が亡くなった。

* 工廠…旧陸海軍に直属し、武器・弾薬など軍需品を製造した工場のこと

(参照 大阪市中央区ホームページより作成)

問 6 E の地点は淀川の支流に面する大阪市北区です。関連する設問に答えなさい。

(1) 大阪市北区には大阪高等裁判所があります。関連する設問に答えなさい。

① 裁判所で裁判がおこなわれたあと、判決に納得できない場合、上級の裁判所に訴えてもう一度裁判を受けることができます。刑事裁判において高等裁判所での裁判のやり直しを訴えた場合、どの裁判所で裁判がおこなわれますか。正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 地方裁判所
- イ 簡易裁判所
- ウ 家庭裁判所
- エ 最高裁判所

② 日本では裁判において三審制を採用しています。その理由として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 国民が裁判に参加する裁判員制度が始まったため
- イ 裁判にかかる時間をできるだけ短くするため
- ウ 慎重に裁判をおこなって、国民の人権を守るため
- エ 多くの裁判所で裁判をおこない、裁判の傍聴者を増やすため

(2) 大阪市北区には大阪天満宮があります。その祭礼である天神祭では、夜に大川に100隻あまりの船が行き交う船渡御がおこなわれ、奉納花火が夜空を彩ります。天神祭がおこなわれたことが史料として最初に確認できるのは室町時代です。室町時代に関連する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 『浦島太郎』や『ものぐさ太郎』などのおとぎ話の絵本がつくられた
- イ 百姓や町人の子どもたちは寺子屋に通い「読み・書き・そろばん」を学んだ
- ウ 都の安全や自らの土地を守る武士とよばれる人たちがあらわれた
- エ 千歯こきやとうみなどの農具が登場した

問 7 Fの地点は淀川と大川が分岐^{ぶんき}する場所です。大川は淀川の本流であるため、旧淀川と呼ばれています。関連する設問に答えなさい。

(1) 明治29年(1896年)、淀川の開削^{かいさく}工事がおこなわれました。資料9から資料10へと変化したことが分かります。なぜこのように川の流れを改めたと考えられますか。説明しなさい。

資料 9



(参照 国土地理院より作成)

資料 10



(参照 国土地理院より作成)

- (2) 写真4の人物はヨハネス・デ・レーケです。彼は、淀川の工事を手掛けた中心人物です。この人物のように、明治時代には日本に招かれた外国人が多くいました。関連する設問に答えなさい。



写真4

- ① 表1は明治時代に日本にやってきた外国人をまとめたものです。明治新政府はどのような目的で外国人を多く招き入れていたのでしょうか。その理由を考えて説明しなさい。

表1

分野	人物名(国名)	おもな功績
宗教	ヘボン(アメリカ)	ローマ字の考案
	ジェーンズ(アメリカ)	熊本洋学校の教師
教育	クラーク(アメリカ)	札幌農学校の初代教頭に就任
自然科学	モース(アメリカ)	大森貝塚の発掘
	ナウマン(ドイツ)	地質図の作成、本州の地溝帯を発見
	ミルン(イギリス)	日本地震学会の創設
医学	ベルツ(ドイツ)	東京医学校の教師
哲学	フェノロサ(アメリカ)	日本の仏像や絵画、建築に「美術」の概念を与えた
美術	ラギーザ(イタリア)	西洋式彫刻技法を教えた
	ワグマン(イギリス)	日本最初の漫画雑誌の刊行
	キヨソネ(イタリア)	銀行券や切手のデザイン、原版作成
建築	コンドル(イギリス)	東京丸の内のレンガ街、鹿鳴館の設計

② ヨハネス・デ・レーケが活躍したころの日本の変化として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 江戸時代に武士であった人たちのみ、20才になると軍隊に入ることを義務付けられた
- イ 江戸時代におかれていた「藩」を廃止し、新たに「県」を置いた
- ウ 国の収入を安定させるために、税を現金で納めることになった
- エ 6才以上の男女は学校に通うことが定められた

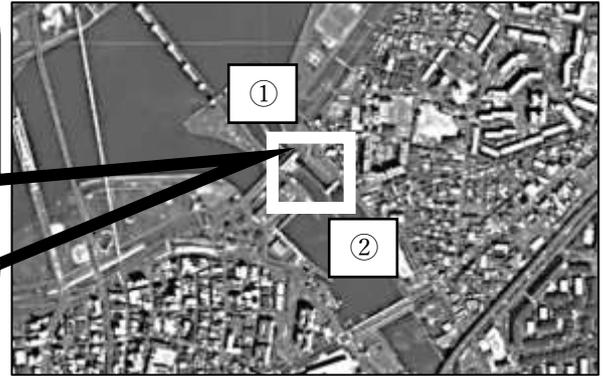
- (3) 大川と淀川が交わる毛馬^{けま}には、写真 5 のように閘門^{こうもん}があります。閘門は水位の異なる河川や運河、水路の間で船を航行させるために水位を調節する装置です。資料 11 の①と②では水位が異なります。①の場所に船があり、②の場所へ行こうとする際、どのような手順で船を通せばよいですか。資料 12 を参考に、正しい手順を下のア～カの中から解答欄に合うようにそれぞれ選び記号で答えなさい。



写真 5

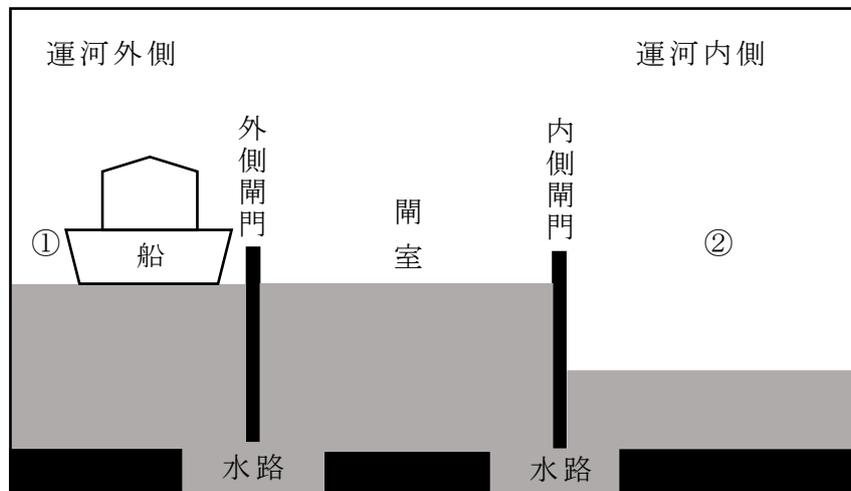
(出典 photo AC ホームページより)

資料 11



(参照 国土地理院より作成)

資料 12



- ア 外側閘門を開き、船を閘室へと誘導する
- イ 内側閘門を開き、船を運河内側へと誘導する
- ウ 外側閘門を閉じ、閘室の水位を下げる
- エ 内側閘門を開き、船を閘室へと誘導する
- オ 内側閘門を閉じ、閘室の水位を上げる
- カ 外側閘門を閉じ、船を運河内側へと誘導する

問 8 G の地点は淀川右岸に位置する^{せつ}摂津市です。摂津市では資料 13 のように、平和都市宣言を^{かか}掲げています。関連する設問に答えなさい。

資料 13

・・・(略) ここに、摂津市は国内外の平和を愛する人たちとともに A 非核・平和を訴え、この地球から核兵器をなくし、人間としてともに生きる喜びがあふれる社会の実現に積極的に取り組むことを決意し、B 憲法を守り人間を尊重する平和都市になることを宣言します。

(参照 摂津市ホームページより作成)

(1) 下線部 A に関連して、昨年、核兵器のない世界を実現するための団体である日本原水爆被害者団体協議会が を受賞しました。日本でこの賞を受賞したのは、非核三原則を^{ひょうめい}表明した^{さとうえいさく}佐藤栄作首相が受賞して以来 50 年ぶりです。 に入る語句を答えなさい。

(2) 下線部 B に関連して、日本国憲法は平和主義を三大原則の一つにしています。平和主義以外のあと二つの原則とは何か答えなさい。

- (3) 摂津市では写真 6 のように、被爆樹木二世の苗木じゅもくを小学校の校庭に植える活動をしています。被爆樹木二世とは原子爆弾で被爆した樹木の種から育てられた苗木のことをいいます。①～④のうち、このような活動をおこなう理由として考えられるものの組み合わせとして正しいものを、下のア～カの中から一つ選び記号で答えなさい。



写真 6

(出典 摂津市ホームページより)

- ① 地球温暖化に歯止めをかけるため
- ② 子どもたちに平和について考えてもらうため
- ③ 原子爆弾の悲惨ひきんさをあとの世代まで伝えるため
- ④ 摂津市の森林保護に努めるため

- ア ①・②
- イ ①・③
- ウ ①・④
- エ ②・③
- オ ②・④
- カ ③・④

問 9 H の地点は淀川右岸に位置する高槻市^{たかつき}です。写真 7 は高槻市で決壊^{けっかい}して起きた大洪水「淀川^{おおつか}大塚切れ」の後に建てられた洪水記念碑^ひです。この碑文には、『安楽^{あんらく}に暮らしていても、危機^{きき}のあることを忘れてはならない』と書かれています。全国にある自然災害伝承碑^{でんしょう}は、このように災害があったことを伝えるためにおかれています。図 3 はある災害における自然災害伝承碑の分布をあらわしたものです。これらはどのような自然災害があったことを伝えようとしていますか。答えなさい。



写真 7

(出典 国土地理院より)

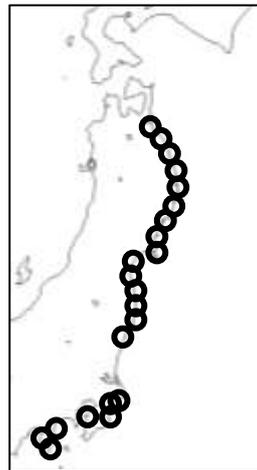


図 3

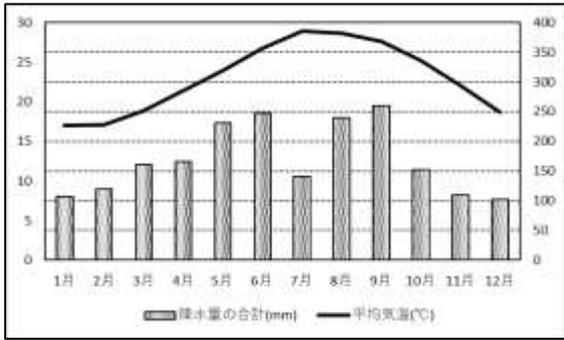
(参照 国土地理院より作成)

問 10 I の地点は淀川左岸に位置する枚方市ひらかたです。枚方市の小学校に通うたろうさんたちは、今日の給食についてのポスターを作成しました。ポスターを見て設問に答えなさい。

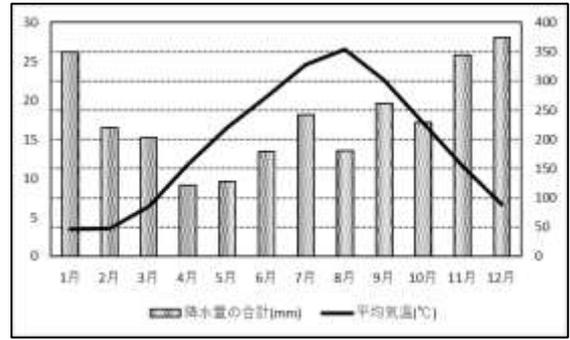


- (1) ポスターについて、枚方市の学校給食では「地産地消ちさんちしょう」の取り組みをしています。「地産地消」とは、地域で生産された農林水産物のうりんすいさんぶつをその生産された地域において消費しようとする取り組みのことです。なぜ「地産地消」が大切にされているのでしょうか。考えて説明しなさい。

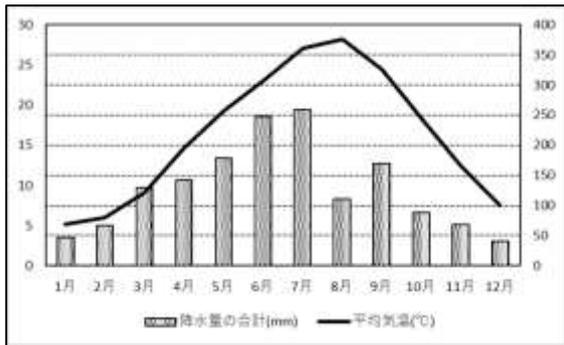
(2) ポスターについて、郷土料理とは、各地域でとれる食材を使ったり、その土地ならではの調理方法で作った伝統的な料理のことをいいます。広島では「カキ飯^{めし}」という郷土料理があり、カキの養殖^{ようしょく}が盛んです。次のア～エは、広島、那覇(沖縄)、新潟、浜松(静岡)のいずれかの雨温図^{うおんず}を示したものです。広島の雨温図として正しいものを、一つ選び記号で答えなさい。



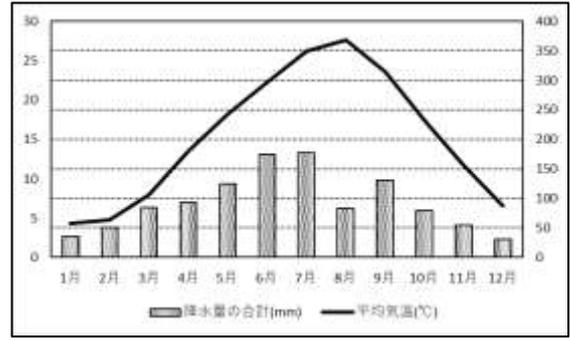
ア



イ



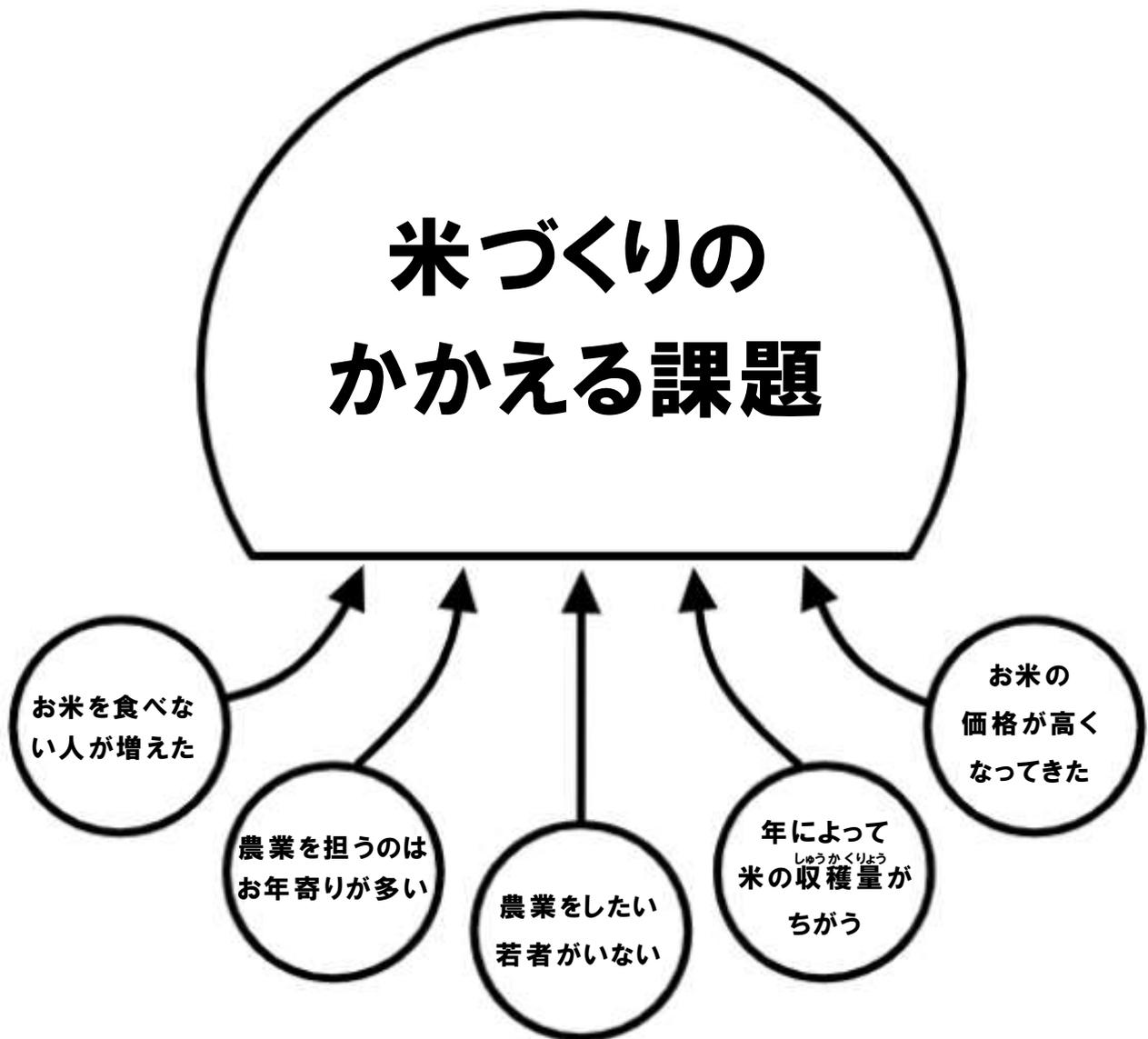
ウ



エ

(参照 気温と雨量の統計ホームページより作成)

問 11 J の地点は巨椋池跡おぐらいけです。巨椋池は昭和 16 年に初の国営干拓事業こくえいかんたくとして、整然と区画された農地として生まれ変わった場所です。たろうさんたちは、米づくりに関連する学習を深めるため、米づくりのかかえる課題について、くらげチャートを使って整理をし、複数の課題をかかえていることに気づきました。くらげチャートにあげられている課題の中から、いずれか一つを選び、その課題の解決策について説明しなさい。



問 12 K の地点は淀川に面した淀^{よど}です。関連する設問に答えなさい。

- (1) 「樟葉^{くずは}、橋本の村々を過ぎると間もなく小さいけれど有名な淀の街が続く。…(略)我々は淀の街についた。」と、江戸時代に長崎のオランダ商館医であったケンペルは淀を訪れたときのことを『江戸参府紀行』にあらわしています。ケンペルが勤めていた頃の長崎の特徴について「出島」という語句を必ず用いて説明しなさい。
- (2) 京阪電車淀駅の近くには唐人雁木跡^{とうじんがんぎあと}があります。雁木とは朝鮮通信使^{ちょうせん}が大坂から淀川をさかのぼり上陸する際に使われた栈橋^{さんぼし}のことです。朝鮮通信使が朝鮮から淀で上陸するまでに通った場所として考えられるものを、図 4 のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

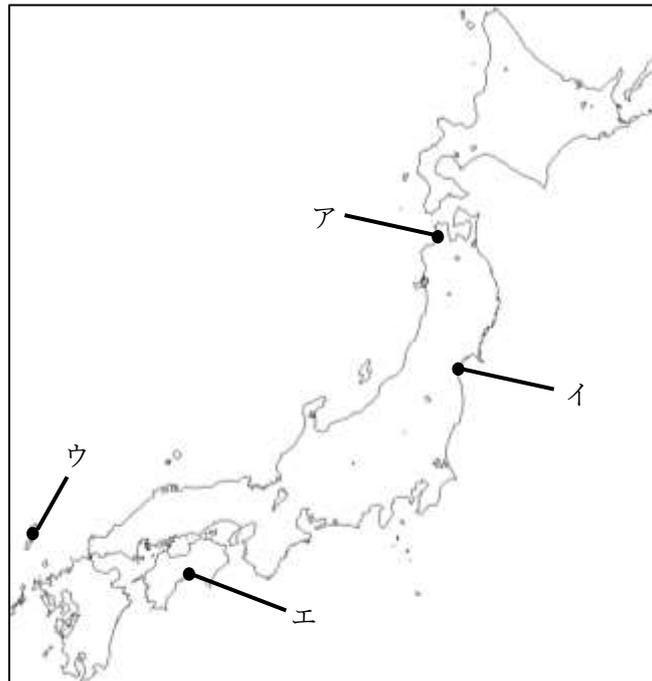


図 4

問 13 L の地点は京都市伏見区^{ふしみ}です。関連する設問に答えなさい。

- (1) 伏見城^{とよみひでよし}は豊臣秀吉が築いた城として有名です。豊臣秀吉は一揆^{いっき}を防ぐために、刀狩令^{かたながりれい}を出して百姓から武器を取り上げました。その結果、今まであいまいであった身分がはっきりと区別されるようになりました。どのような身分に区別されるようになりましたか。解答欄に合うように答えなさい。

- (2) 伏見は江戸時代初期に全国で初めて銀座ぎんざがおかれた場所であり、写真 8 はその跡を示した石碑です。銀座は何をする場所であったと考えられますか。資料 14～16 を参考にして、説明しなさい。



写真 8

資料 14

灰吹銀はいふきぎんの精錬せいれん方法
銀鉱石ぎんこうせきに鉛なまりを溶かして銀と鉛合金ごうきん（貴鉛きえん）をつくる。
「灰吹」をおこなって鉛と酸素を結合させ、貴鉛から鉛を取り除く。
ボタン状の銀（灰吹銀）ができるので、それを銀座に運ぶ。

資料 15

銀座の様子



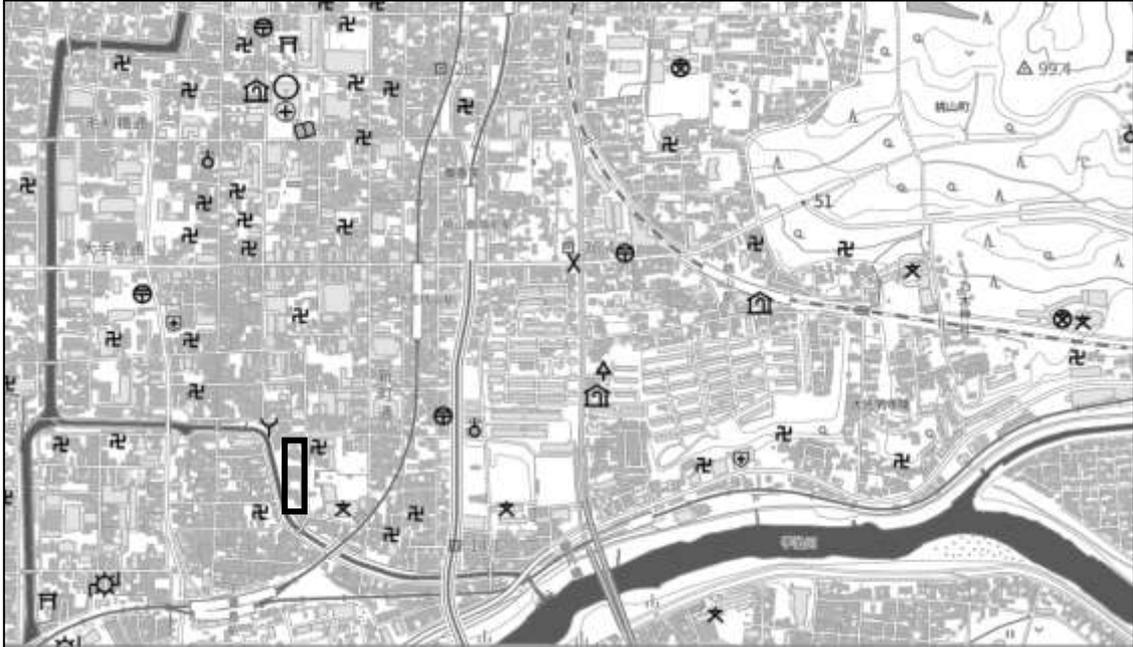
(参照 『銀座巻物』 [1] 写. 国立国会図書館デジタルコレクションより作成)

資料 16

江戸時代は金貨・銀貨・銅貨の三貨制度がとられており、金貨はおもに江戸で使用され、銀貨はおもに大阪で使用されていた。銅貨はおもに庶民や百姓によって使用されていたといわれている。

- (3) 資料 17 の□のところは、伏見港の近くにある本材木町と呼ばれる場所です。この場所は伏見城築城と関連しており、伏見港発展のはじまりといわれています。関連する設問に答えなさい。

資料 17



(参照 国土地理院より作成)

- ① この地名が名付けられたのはなぜだと考えられますか。考えられる内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 外国へ木材を輸出するために木を大量に栽培していた
- イ 森林地区であったため、生い茂る木を伐採していた
- ウ 大阪から運ばれた木材を船からおろしていた
- エ 江戸から運ばれた木材を蔵屋敷に保存していた

- ② 資料 17 中に掲載されていない地図記号の名称として正しいものを、次のア～オの中から二つ選び記号で答えなさい。

- ア 郵便局
- イ 寺院
- ウ 学校
- エ 博物館
- オ 温泉

(4) 伏見には伏見^{じゆく}宿がおかれていました。伏見宿には本陣^{ほんじん}もあったため、大名^{だいみょう}が利用しました。江戸時代の大名は1年おきに江戸と領地を行き来していました。この制度の名前を答えなさい。

(5) 伏見宿のように全国各地には宿がおかれ、そこでは宿場町が形成されました。資料18・19は歌川^{うたがわひろしげ}広重が描いた宿場町の様子です。資料20は京街道^{きょうかいどう}沿いに置かれた宿の位置の地図です。資料18～21を見て、宿場町の説明として正しいものを、下のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

資料 18

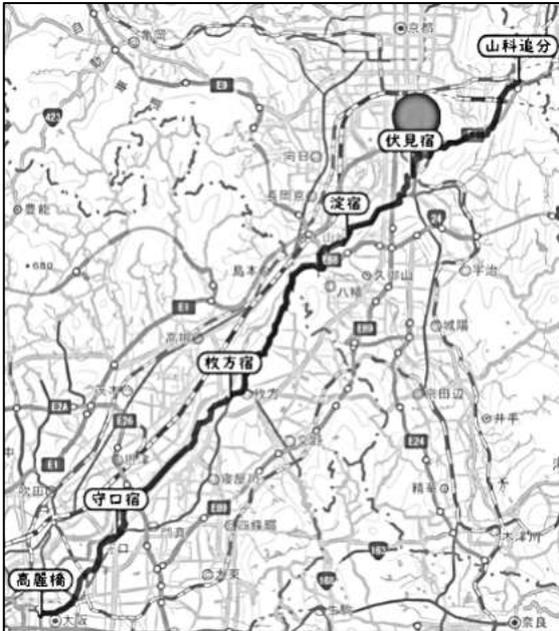


資料 19



(出典 都立図書館 TOKYO アーカイブより)

資料 20



資料 21

【宿場町の主な構成】

- ・ 宿泊施設 (本陣・脇本陣・旅籠屋)
- ・ 継ぎ送り業務施設 (問屋場)
- ・ 飲食店
- ・ 家

(出典 GPSCycling より)

- ア 港を中心に人や物が集まってつくられた
- イ 名高い寺院の門前につくられた
- ウ 城を中心に武士が住むまちとしてつくられた
- エ 馬や人による荷物の運搬を運営する施設もつくられた

問 14 次の新聞記事を読み、関連する設問に答えなさい。

そうだ「伏見航路」で行こう

「水都大阪」の発展を支えた淀川で大阪と京都市伏見区を結ぶ「伏見航路」が 62 年ぶりに復活した。来年 4 月の大阪・関西万博の開催に向け、京都と会場の人工島・夢洲が浮かぶ大阪湾とを結ぶ航路の整備も進められている。

万博開催まで半年となった 10 月 13 日、大阪府枚方市の淀川沿いで航路復活を祝う式典が開かれた。伏見に向かう観光船に家族連れらが乗り込み、集まった市民らが「行ってらっしゃい」と見送った。

淀川を利用した水上交通「淀川舟運」の歴史は古い。奈良時代に、京都の恭仁京から大阪の難波宮に遷都した際の物資の輸送にも使われたという。

大阪が「天下の台所」として栄えた江戸時代には、全国から大阪に集まった塩や酒、年貢米、木材など物資の輸送路として利用された。大阪と伏見を結ぶ旅客船は 1 日に 300 便以上あったとされる。

だが昭和になり、鉄道や道路といった陸上交通網の整備が進むにつれ、物資や人を運ぶための船の利用は減っていき、1962 年に伏見—大阪の航路も廃止。2019 年、淀川を通行する船の数は年間 5543 隻で、全盛期の 20 分の 1 にまで減った。

こうしたなか、災害の観点から、舟運が再評価され始めている。陸上交通だと、地震で寸断される恐れがあるからだ。

国土交通省近畿地方整備局は 1995 年の阪神淡路大震災をきっかけに、災害時の物資や人の輸送に船を活用しようと、河川整備に着手。淀川の河口から枚方までの河川敷に緊急用船着き場を 9 カ所設置し、現在 10 カ所目の工事が進む。

さらに万博開催が決まると「伝統ある淀川舟運を観光振興にも生かそう」と航路復活に向けた機運が高まった。

半年の期間中に約 2820 万人の来場を見込んでいる万博は、魅力を発信する絶好の機会。自治体や民間事業者が協力し、復活に至った。

万博が始まる来春に向け、河口から約 10 キロ上流にある淀川大堰(大阪市)に、船が通れる門を設置する工事も進められている。これができれば、災害時の船の活用が強化されるとともに、大阪湾までの往来ができるようになる。

伏見隆・枚方市長は航路復活の式典で「万博を機会に、より盛り上げていきたい」と話した。

(参照 朝日新聞 2024 年 11 月 16 日付 記事より作成)

- (1) 新聞記事中の下線部について、都をうつした天皇はその他にも資料 22・23 の命令を出しています。この天皇の名前を答えなさい。

資料 22

このごろ田畑の実りが豊かでなく、疫病^{えきびょう}が流行している。それを見ると身の不徳^{ふとく}を恥じる気持ちと恐れが交互に起こって、ひとり心を痛め自分を責めている。広く人民のために大きな福があるようにしたいと思う…そこで全国に命じて…国ごとに寺と尼寺^{あまでら}を建てる。寺には僧を二十人おき、尼寺には尼十人をおく。

資料 23

仏教をますますさかんにし、人々を救うために、大仏をつくる決心をした。国じゅうの銅を使って大仏をつくり、大きな山をくずして大仏殿^{でん}を建てる。そうすることで人々とともに、仏のめぐみを受けたいと思う。わたしは天下の富と力を独占している。この富と力で大仏をつくるのである。一本の草、ひとつかみの土をもって、大仏づくりを助けたいと思う者には、これを許す。

- (2) 近年、淀川の舟運を復活させる動きがみられます。新聞記事からどのような目的で淀川の舟運を復活させようとしていることが読み取れますか。二つの目的を答えなさい。

これで問題は終わりです。